

市政を問う

3月定例会では、7名の議員が一般質問を行いました。その主なものを要約して掲載しています。
なお、未掲載の質問などは定例会のインターネット動画配信でもご覧いただけますので、多久市議会のホームページにアクセスしてください。



田 淵 厚

農地問題について

田淵 平成31年3月の農地貸し付け等の意向調査、進捗状況と農地面積、耕作者数、その中で75歳以上の方の人数、その耕作面積、また、後継者数は。

答弁 農地を貸したい筆数104筆、面積は11万664㎡、令和3年度の新規貸借契約数は107件、面積41万6,439㎡であり、農地の集積は年々僅か進んではいます。
農業者数は609人、その中で75歳以上は212人で34%となっています。

田淵 農業委員と農地利用最適化推進委員では優良農地を守るため農地パトロールを実施されているが、その後の対応は。

答弁 令和3年度の結果として再生可能な農地と再生が困難な農地があり、合わせて遊休農地283ha、昨年度より26.1haの増加です。



農地パトロール後の会議

田淵 市外所有者農地については、年々耕作面積が増えてきて、地元管理で難しいことがある。そうした状況での対応はどう思うか。

答弁 農業用施設の維持管理は基本的には受益者及び関係者で行っていただきたいと思っています。

成は今年度中の設計完了を目指しています。

國信 病院に係る全体の工事金額は。

答弁 基本計画策定時点で77億円と想定しています。

國信 工事資金の調達及び返済計画は。現在及び将来のツケを若い市民に極力残さないでほしい。

答弁 県の地域医療介護総合確保基金、病院事業債、過疎事業債を予定しています。また、返済については、基本的に償還に対して財政が逼迫するということはないと考えているところです。



中 島 國 孝

豪雨時の対策

中島 毎回土砂が豪雨時に堆積する箇所があるが把握はされているか。

答弁 豪雨災害で、繰り返し土砂が堆積している箇所としては、市道では山崎山線、向鶴線、中原西岳線、笹原井上線。
また、市河川では空巣川などとなっており、豪雨災害後には堆積土砂の除去を実施しています。

中島 土砂堆積についての原因は。

答弁 隣接する山間部の土砂が緩み、道路や水路等に流れ出たと考えられます。

中島 対策として土砂防ダムはどうか。

答弁 土砂災害警戒区域、または土砂災害特別警戒区域の指定外区域での砂防事業を行うことは困難であり、適切に緊急対策を行って行きたいと考えています。

中島 市として田んぼダム政策についての考えは。

中島 積極的に田んぼダム事業を取り組むに当たり、農家への周知方法は。

答弁 説明会の開催やチラシの配布、個別説明等により周知を図り、令和4年度に活動組織へ取組の意向調査と確認、組織内での合意形成をしていただき、令和5年度から事業の取組を本格化して行きたいと考えています。



國 信 好 永

新公立病院建設について

國信 用地取得、交渉、地元協議、契約、買収の状況は。

答弁 用地取得の手続は、今年2月に全地権者との仮契約を完了しました。

農地転用の許可後に、所有権登記、土地代金の支払等の手続を完了したと考えています。

國信 建築物の設計の状況は。

答弁 小城・多久合同の選定委員会を設置し、プロポーザル方式で安井・平野建設設計共同体を優先交渉権者として選定しました。基本設計は令和3、4年度の2か年の事業です。建築の実設計は令和4年度を予定しています。

國信 建築物の着工時期、造成の実設計完了は。

答弁 建物の着工は、おおむね令和5年7月ごろと考えています。また造

水田の活用 (田んぼダム)
○田んぼダム(排水口への堰板の設置等による流出抑制)によって下流域の温水被害リスクを低減。

堰板
田んぼに貯留
田面

田んぼダム堰板の例



病院建設予定地